AirStation WLA-S11G

無線 LAN
スタートガイド

本書には、無線 LAN と有線 LAN 間で通信するための手順を説明しています。
本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

■文中マーク／用語表記

⚠注意 マーク 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモ マーク 製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

▶参照 マーク 関連のある項目のページを記しています。

・文中［ ］で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。

・文中『 』で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表わしています。

・本書では原則として WLA-S11G を AirStation と表記しています。

・本書では原則として弊社製無線 LAN カードを装着したパソコンを無線 LAN パソコンと表記しています。

・ケーブルで接続された 10/100BASE の LAN とケーブルを使用しない無線 LAN を明確にするために本書では次の用語を使用しています。
有線 LAN…ケーブルで接続された LAN
無線 LAN…無線通信を使用した LAN
上記は、説明のために本書のみで便宜上使用する用語であり、一般的には使用されません。あらかじめご了承ください。

・本書では原則として AirStation を設定するパソコンを設定用パソコンと表記しています。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

はじめに

このたびは、AirStation WLA-S11G をお買いあげいただき誠にありがとうございます。WLA-S11G は、無線 LAN と有線 LAN の通信を可能にして、家庭からオフィスまで幅広くご活用いただける製品です。本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

■　AirStation WLA-S11G の特長

・有線 LAN －無線 LAN 間の通信が可能。

・IEEE802.11b に準拠し、無線上で通信速度 11Mbps の通信が可能。
※ 2Mbps 無線カードとは接続できません。

・屋内 115m/ 屋外 550m（見通し）までの通信が可能。

※　11Mbps 通信時は、屋内① 50m/ 屋内② 25m/ 屋外 160m（見通し）
屋内①：障害物の少ないオフィス
屋内②：障害物の多いオフィス

※　通信距離は環境により影響されます。
次の様な場合は電波の届く距離が短くなることがあります。あらかじめご了承願います。

①：マンション等の鉄筋コンクリートの建物内及び構造に金属が使用されている住宅。

②：大型の金属製家具の近くなど。

・ローミング機能に対応しているため、移動しながらの通信が可能。

※　データ通信中にローミング機能が働くと、通信が途切れることがあります。

・ネットワーク負荷を軽減する多チャンネル（全 14ch）機能を搭載。

・MAC アドレス登録機能／ WEP（暗号化）によるセキュリティ機能搭載。

・128/40 ビット WEP 対応。（詳細は、「WEP（暗号化）について」（P11）を参照）

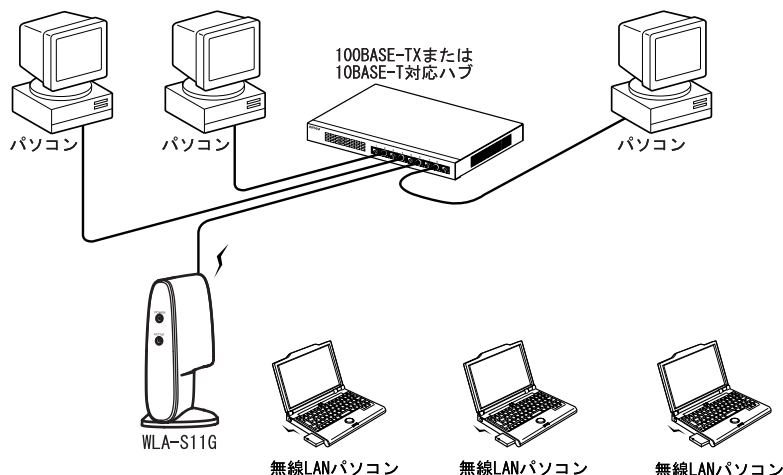
※　128 ビット WEP を使用する場合、無線 LAN カード／アダプタも 128 ビット WEP に対応している必要があります。(128 ビット WEP と 40 ビット WEP の併用はできません）。

・アップル社製 AirMac 対応の無線カードを搭載した iBook、iMacDV、G4（AGP モデル）との相互通信に対応。

※　Windows と Mac 間でのデータのやり取りには、それぞれのプロトコルを認識させるユーティリティソフトが別途必要です。Mac にインストールする「DAVE」、Windows にインストールする「PC MACLAN」等をご利用ください。

※　AirMac と通信するには無線チャンネルを 1 ～ 13 チャンネルに設定して使用してください。

無線 LAN で広がるネットワークの世界

家庭でもオフィスでも、無線 LAN はこれからの主流といえます。
ケーブルがいらないので、部屋の美観を損ねないだけでなく、使い勝手がよくなります。また、ネットワークにパソコンを増設することも簡単です。

■　無線 LAN －有線 LAN 間通信のための基本的なことは…

本書では 無線 LAN と有線 LAN で通信する場合の手順を説明しています。

■　さらにご理解を深めていただくためには…

さらに AirStation を使いこなすために、別冊の『ネットワーク活用ガイド』を参考にしてください。

■　インターネットで情報サポート

AirStation ユーザのためのコミュニティサイト airstation.com にアクセスして、最新情報をキャッチしましょう。
http://www.airstation.com/

目　次